

令和7年度 波佐見高等学校 学校関係者評価

<p>学校評議員への 諮 問 内 容</p>	<p>1 波佐見高校の教育活動について 2 入学者選抜・志願者数・学校のPRについて 3 波佐見町との連携について</p>
<p>学校評議員からの 意見・助言等</p>	<p>1 波佐見高校の教育活動について          ①特別指導については、従来の一律的な生徒指導ではなくSC面談なども行い、それぞれの生徒に適切な指導を行っていることが分かった。          ②進路について、大学進学は部活動での実績や受験での進学があること、入試方法の多様化に対応されていることについて理解した。          ③キャリア教育表彰について、波佐見中学校とW受賞だった。これからも継続して、波佐見町・波佐見中と協力して続けてほしい。          ④「金探」は継続してほしい。小学校の50周年記念式典で、波佐見高校がドローンで航空写真を撮影するなど活躍している。</p> <p>2 入学者選抜・志願者数・学校のPRについて          ①波佐見中学校では、波佐見中出身の生徒の作品を波佐見高校から預かって飾っている。外部からの来客は高い評価を得ていて、美工科の作品をアピールできている。          ②商業科の改革に興味がある。地場産業の視点から、観光と産業を結び付けて授業を行う必要性を感じている。          ③50周年行事に向けて動いてほしい。          ④美工科の卒展ではポートフォリオが展示してあった。ポートフォリオは受験に持っていけるため進路にもつながっている。</p> <p>3 波佐見町との連携について          ①中尾・鬼木地区が波佐見高校へデザインを依頼した。          ②バス問題は現在、特に問題はあるか。          ③波佐見町主催の青少年意見発表会では、高校生が動画で発表し。小中学生のいるところで、ぜひ今後も高校生の作品を発表してほしい。</p>
<p>対 応 等</p>	<p>1 波佐見高校の教育活動について          ①生徒支援の視点から、生徒指導部だけでなくSC面談なども行っている。校務分掌を「生徒支援部」として次年度は、組織改編していく予定である。          ②金探については、3月6日にウェイブホールで探究の発表会を行い、そこで探究で取り組んだことを披露する。          ③電話対応は18:00まで、録音機能を設定するなどして、対応している。</p> <p>2 入学者選抜・志願者数・学校のPRについて          ①波佐見中出身者の作品は役場に展示されている。ご当地ナンバープレートやはちゃまるのデザインを本校が行っている。          ②商業科の授業については、次年度「HTB（波佐見・ツーリズム・ビジネス）」の授業を実施する。</p>

	<p>3 波佐見町との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 美工科の生徒が中尾・鬼木についてのエンブレムをデザインした。</li><li>② 波佐見町との連携を進めるために、コンソーシアムを3回開催した。</li><li>③ バス問題については、西肥バスの重尾発三川内の便がなくなった。タウンバスで対応している。</li></ul>
--	--